

ONCC 12期生 てくてくウォーキング科

9月13日（金）

## 芥川城跡と摂津峡公園

夏休み明けのてくてくウォーキングは芥川城跡と摂津峡公園をハイキングしました。高槻駅北口に集合し、高槻市バスに乗り塚脇のバス停で降りて三好山に向かいました。全体で二班に分かれ各々にガイドさんが二人ついてくれました。

### 芥川城について

芥川城は高槻の三好山にあった大阪府下では最大の戦国時代の典型的な山城です。三好山は標高182mで東に隣接する帯仕山の192mより低いですが、山裾の三方向は芥川が流れる摂津峡の深い峡谷で敵が攻めにくい天然の城塞でした。

1516年までに摂津を束ねる守護の細川高国が完成させたと考えられています。高国との戦いに勝利した細川晴元が次の城主となりましたが1549年に家臣の三好長慶に追放されました。

**三好長慶**は將軍足利義輝を京都から追放し天下（当時の畿内）の支配を開始します。

芥川城は天下人になった三好長慶の居城として栄えました。

（三好長慶は織田信長より先に天下人となったということで近年評価が高まっており、堺市ではNHK大河ドラマの主人公に取り上げてほしいと要望を出しているそうです。）

長慶死去後の1568年に織田信長の摂津侵攻により落城し、和田惟政が入城、その後キリシタン大名として知られる高山右近親子が入城しますが1571年に高槻城へ移り芥川城は歴史の表舞台から姿を消しました。

### 塚脇バス停から見た三好山と帯仕山





## 芥川城跡の遺構

芥川城跡には遺構がよく残っています。山の尾根を断ち切った堀切や土塁（土手）、石垣が残っておりガイドさんが案内してくれました。

## 堀切と土塁



## 1人しか通れない細い道



三好長慶の居城の時代にはこの道を多くの人が通っていたということで昔の人は体力があってよく歩いていたのだと改めて思いました、



## 石垣



## 山頂からの眺め

山頂からは高槻市内はもとより畿内一円が望めます。三好長慶が後で移った飯森山も見えます。城主になったつもりで見渡すといい気分です。



天気がよかったのはいいのですが残暑厳しく、歩くと汗が吹き出しました。涼しい季節に行かれることをお勧めします。